

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）／インデックス型
信託期間	無期限（設定日：2021年8月23日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、LBMA金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 ゴールド・インデックス・マザーファンド iShares Gold Trust （iシェアーズ ゴールド・トラスト） SPDR Gold MiniShares Trust （SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト）
当ファンドの運用方法	■LBMA金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 ■マザーファンドが投資対象とする投資信託証券は、継続的にモニタリングを行い、商品性および運用上の効率性を損なわない範囲で、委託会社の判断により見直しを行うことがあります。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
組入制限	当ファンド ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ゴールド・インデックス・マザーファンド ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年11月30日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 （ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

三井住友DS・ゴールド インデックス・ファンド （為替ヘッジあり） 【運用報告書（全体版）】

（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

第 **3** 期
決算日 2023年11月30日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、LBMA金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

三井住友DS・ゴールドインデックス・ファンド（為替ヘッジあり）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			(ベンチマーク) LBMA金価格 (円ヘッジ換算ベース)		投資信託証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 分 配	込 金 期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率		
(設 定 日) 2021年8月23日	円 10,000	円 -	% -	100.00	% -	% -	百万円 1
1 期 (2021年11月30日)	9,748	0	△2.5	100.28	0.3	101.0	37
2 期 (2022年11月30日)	9,277	0	△4.8	96.08	△4.2	99.0	335
3 期 (2023年11月30日)	10,096	0	8.8	105.23	9.5	96.6	914

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※LBMA金価格 (円ヘッジ換算ベース) は、ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド (ICE Benchmark Administration Limited) が公表する指数 (LBMA金価格) を基に委託会社が換算したものです。

LBMA金価格はICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドが算出し公表している指数であり、同社は、LBMA金価格及びLBMA金価格が示す、あらゆる特定の日、特定の時点における数値により生じた結果について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドは、当ファンドに関する商品性や特定目的への適合性について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(ベンチマーク) LBMA金価格 (円ヘッジ換算ベース)		投資信託証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2022年11月30日	円 9,277	% -	96.08	% -	% 99.0
12月末	9,557	3.0	98.90	2.9	95.6
2023年 1 月末	10,039	8.2	104.35	8.6	100.8
2 月末	9,441	1.8	97.97	2.0	101.2
3 月末	10,230	10.3	105.35	9.6	100.2
4 月末	10,217	10.1	106.02	10.3	99.4
5 月末	10,025	8.1	103.64	7.9	100.1
6 月末	9,710	4.7	100.24	4.3	101.4
7 月末	9,913	6.9	102.57	6.8	100.2
8 月末	9,769	5.3	101.71	5.9	98.9
9 月末	9,339	0.7	97.30	1.3	100.6
10月末	9,913	6.9	103.22	7.4	99.1
(期 末) 2023年11月30日	10,096	8.8	105.23	9.5	96.6

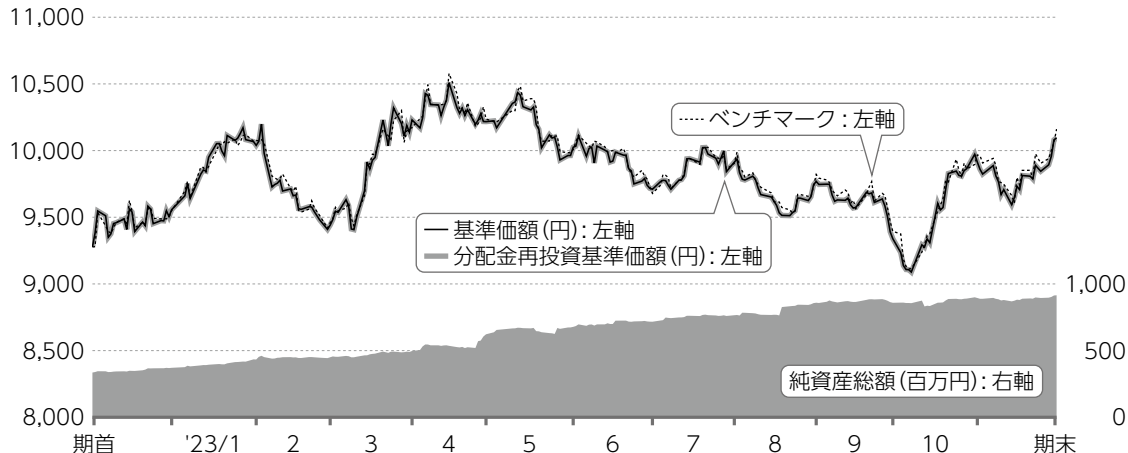
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,277円
期末	10,096円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+8.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、L BMA金価格(円ヘッジ換算ベース)です。

※L BMA金価格(円ヘッジ換算ベース)は、ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド(ICE Benchmark Administration Limited)が公表する指数(L BMA金価格)を基に委託会社が換算したものです。

L BMA金価格はICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドが算出し公表している指数であり、同社は、L BMA金価格及びL BMA金価格が示す、あらゆる特定の日、特定の時点における数値により生じた結果について、

三井住友DS・ゴールドインデックス・ファンド（為替ヘッジあり）

明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドは、当ファンドに関する商品性や特定目的への適合性について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。

基準価額の主な変動要因（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、ロンドン貴金属市場協会（以下LBMA）金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

上昇要因

- インフレ懸念の後退や利上げ打ち止め期待の高まりから、リスク資産が上昇したこと
- 2023年3月に米国の地銀が経営破綻したことで、安全資産需要が高まったこと
- 中東でパレスチナの武装勢力ハマスがイスラエルを攻撃したことで地政学リスクが懸念され安全資産需要が高まったこと

下落要因

- F R B（米連邦準備制度理事会）による早期の利下げ期待が後退し、米国長期金利（10年国債利回り）が上昇したこと

投資環境について（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

期間における金地金価格（米ドルベース）は、上昇しました。

期初、F R Bによる利上げペースの減速期待により金地金価格は上昇しました。しかし、その後のF R Bのタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な姿勢や根強いインフレ圧力により米国の長期金利が上昇し、金地金価格は下落に転じました。

2023年3月には米国地銀破綻に端を發した金融市場の不安が安全資産である金地金価格を押し上げる一因となりましたが、金

融引き締めが長期化するとの見方から再び金利が上昇し、9月にかけて金地金価格は軟調に推移しました。

その後期末にかけては、F R B議長が追加利上げへ慎重な姿勢を見せ米国の長期金利が下落に転じたことや、中東でパレスチナの武装勢力ハマスがイスラエルを攻撃したことによる地政学リスクの高まりから、金地金価格は上昇しました。

ポートフォリオについて（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

当ファンド

「ゴールド・インデックス・マザーファンド」への投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、L B M A金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

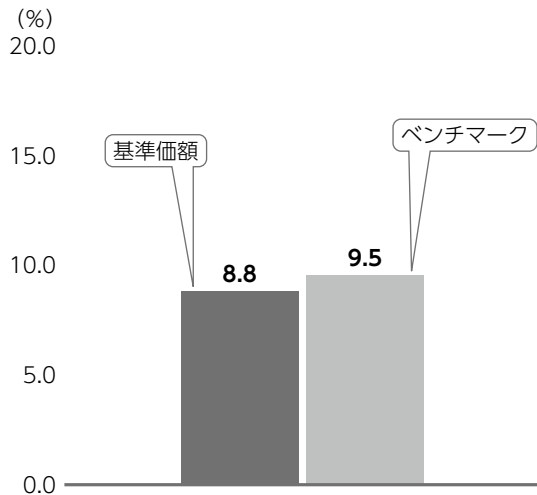
ゴールド・インデックス・マザーファンド

●ポートフォリオの特性

金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資することにより、L B M A金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは、LBMA金価格(円ヘッジ換算ベース)をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+8.8%（分配金再投資ベース）となり、ベンチマークの騰落率+9.5%を0.7%下方乖離しました。

下方乖離要因

- 現地証券保管銀行の証券保管および取引などに関わるコストが生じたこと
- 信託報酬が発生したこと

分配金について（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第3期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	241

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。
 なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「ゴールド・インデックス・マザーファンド」への投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、LBMA金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

ゴールド・インデックス・マザーファンド

金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資することにより、LBMA金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

三井住友DS・ゴールドインデックス・ファンド（為替ヘッジあり）

1万口当たりの費用明細（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	38円	0.385%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は9,822円です。
（投信会社）	(18)	(0.181)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(18)	(0.181)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.064	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(6)	(0.064)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.019	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.012)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	46	0.468	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

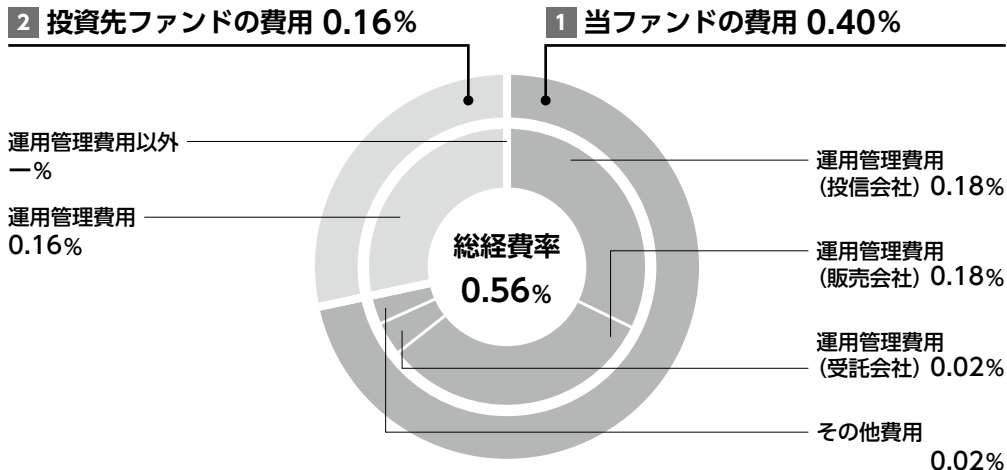
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。なお、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用は含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率 (1 + 2)	0.56%
1 当ファンドの費用の比率	0.40%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.16%
2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	ー %

※**1**の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(マザーファンドが組み入れている投資信託証券)の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。なお、**2**の投資先ファンドの費用には、当ファンドが組み入れているマザーファンドの費用は含まれていません。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.56%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ゴールド・インデックス・マザーファンド	千口 552,520	千円 719,928	千口 221,912	千円 295,485

■ 利害関係人との取引状況等（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2022年12月1日から2023年11月30日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2023年11月30日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)		期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
ゴールド・インデックス・マザーファンド	千口 281,240	千円 611,848	千口 611,848	千円 894,705

※ゴールド・インデックス・マザーファンドの期末の受益権総口数は5,301,265,841口です。

■ 投資信託財産の構成

(2023年11月30日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
ゴールド・インデックス・マザーファンド	千円 894,705	% 97.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	22,209	2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	916,914	100.0

※ゴールド・インデックス・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（7,685,835千円）の投資信託財産総額（7,801,044千円）に対する比率は98.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.07円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2023年11月30日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	1,804,121,821円
コール・ローン等	480,371
ゴールド・インデックス・マザーファンド(評価額)	894,705,584
未 収 入 金	908,935,866
(B) 負 債	889,320,377
未 払 金	887,238,544
未 払 解 約 金	468,680
未 払 信 託 報 酬	1,570,713
そ の 他 未 払 費 用	42,440
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	914,801,444
元 本	906,115,613
次 期 繰 越 損 益 金	8,685,831
(D) 受 益 権 総 口 数	906,115,613口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	10,096円

※当期における期首元本額361,645,871円、期中追加設定元本額701,752,986円、期中一部解約元本額157,283,244円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

（自2022年12月1日 至2023年11月30日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 97円
受 取 利 息	12
支 払 利 息	△ 109
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	37,865,744
売 買 損 益	195,797,591
売 買 損 益	△157,931,847
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,534,971
(D) 当 期 繰 越 損 益 金(A + B + C)	35,330,676
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 13,424,258
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 13,220,587
(配 当 等 相 当 額)	(△ 722)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 13,219,865)
(G) 合 計(D + E + F)	8,685,831
次 期 繰 越 損 益 金(G)	8,685,831
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 13,220,587
(配 当 等 相 当 額)	(△ 631)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 13,219,956)
分 配 準 備 積 立 金	21,906,418

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,172円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	21,902,246
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	21,906,418
1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	241.76
(f) 分配金	0
1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

ゴールド・インデックス・マザーファンド

第2期（2022年8月2日から2023年7月31日まで）

信託期間	無期限（設定日：2021年8月3日）
運用方針	■L B M A金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 ■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(ベンチマーク) L B M A金価格 (円換算ベース)		投資 証券 信組 託入 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率		
(設定日) 2021年8月3日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	百万円 1
1期(2022年8月1日)	11,465	14.7	117.67	17.7	98.9	2,246
2期(2023年7月31日)	13,461	17.4	139.10	18.2	98.9	6,096

※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

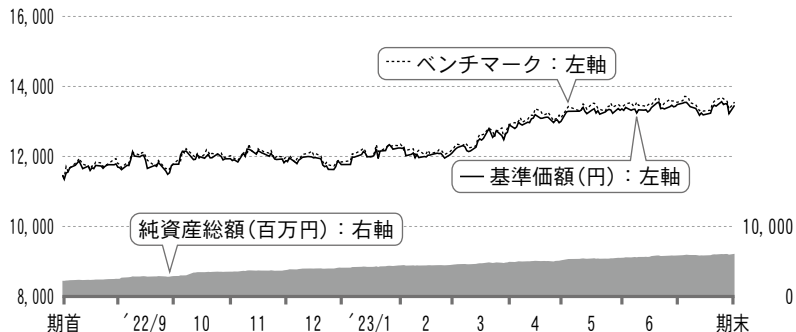
年 月 日	基 準 価 額		(ベ ン チ マ ー ク) L B M A 金 価 格 (円換算ベース)		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2022年 8 月 1 日	円 11,465	% —	117.67	% —	% 98.9
8 月 末	11,696	2.0	121.12	2.9	98.8
9 月 末	11,776	2.7	121.00	2.8	98.8
10 月 末	11,936	4.1	123.38	4.8	98.5
11 月 末	11,878	3.6	122.90	4.4	99.4
12 月 末	11,769	2.7	121.53	3.3	97.9
2023年 1 月 末	12,242	6.8	126.76	7.7	99.0
2 月 末	12,100	5.5	125.19	6.4	98.6
3 月 末	12,903	12.5	132.54	12.6	98.9
4 月 末	13,002	13.4	134.48	14.3	99.4
5 月 末	13,358	16.5	137.79	17.1	99.2
6 月 末	13,485	17.6	139.07	18.2	99.2
(期 末) 2023年 7 月 31 日	13,461	17.4	139.10	18.2	98.9

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2022年8月2日から2023年7月31日まで）

基準価額等の推移



期首	11,465円
期末	13,461円
騰落率	+17.4%

※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドのベンチマークは、LBMA金価格（円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2022年8月2日から2023年7月31日まで）

主として、金地金価格との連動をめざす投資信託証券に投資することにより、ロンドン貴金属市場協会（LBMA）金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- ・インフレ懸念の後退や利上げ打ち止め期待の高まりから、リスク資産が上昇したこと
- ・2023年3月に米国の地銀が経営破綻したことで、安全資産需要が高まったこと
- ・為替市場で投資通貨である米ドルが円に対して上昇したこと

下落要因

- ・米国長期金利（10年国債利回り）が上昇したこと

▶ 投資環境について (2022年8月2日から2023年7月31日まで)

期間における金市場は、上昇しました。米ドル・円は、米ドル高・円安となりました。

金市場

期を通じて、金市場は上昇しました。

期初は、利上げ継続の懸念から米国長期金利が上昇し、金価格は下落しました。

その後、インフレのピークアウトが意識されたことや、3月に米国での銀行破綻や欧州での大手金融機関の経営不安の報道など、金融不安が広がり安全資産需要が高まったことで、金利が低下し、金価格は上昇に転じました。

期末にかけては、金融引き締めが長期化するとの見方から再び金利が上昇し、金価格は上値を抑えられました。

為替市場

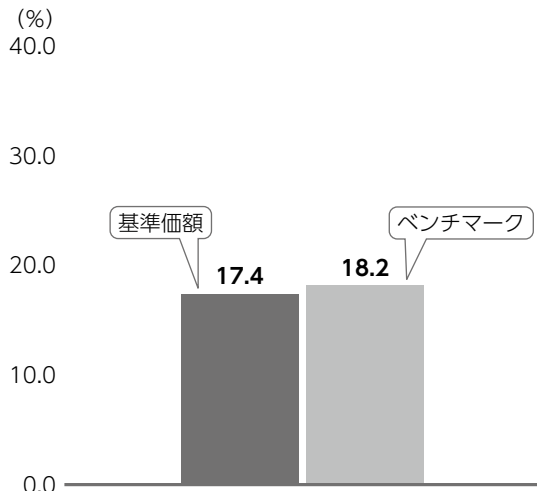
期末の米ドル・円は、期初と比較して円安となりました。米国での金融引き締め長期化観測や日銀新総裁の植田氏のハト派（景気を重視する立場）的発言などから日米金融政策格差が意識され、米ドル・円は上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2022年8月2日から2023年7月31日まで)

L B M A 金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指し、iShares Gold TrustやSPDR Gold MiniShares Trustを組み入れて運用を行いました。

▶ ベンチマークとの差異について（2022年8月2日から2023年7月31日まで）

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、L B M A 金価格（円換算ベース）をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

【ベンチマークとの差異の状況および要因】

基準価額の騰落率は+17.4%となり、ベンチマークの騰落率+18.2%を0.8%下方乖離しました。

下方乖離要因

- ・売買コストが生じたこと
- ・現地証券保管銀行の証券保管および取引などに関わるコストが生じたこと

2 今後の運用方針

引き続き、L B M A金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指しiShares Gold TrustやSPDR Gold MiniShares Trustを高位に組み入れて運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細（2022年8月2日から2023年7月31日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 （ 投 資 信 託 証 券 ）	11円 (11)	0.090% (0.090)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 （ 投 資 信 託 証 券 ）	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 （ 保 管 費 用 ） （ そ の 他 ）	2 (2) (0)	0.013 (0.012) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	13	0.103	

期中の平均基準価額は12,426円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

ゴールド・インデックス・マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年8月2日から2023年7月31日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	ISHARES GOLD TRUST	105,550	千アメリカ・ドル 3,450	-	-
		SPDR GOLD MINISHARES TRUST	537,650	19,607	15,600	567

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年8月2日から2023年7月31日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年8月2日から2023年7月31日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年7月31日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	口 数	期首(前期末) 口 数	期 末		組 入 比 率	
			評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	口	口	千アメリカ・ドル	千円	%	
ISHARES GOLD TRUST	143,640	249,190	9,249	1,303,963	21.4	
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	340,510	862,560	33,536	4,727,616	77.5	
小 計	口 数 ・ 金 額	484,150	1,111,750	42,786	6,031,579	98.9
	銘 柄 数 <比 率>	2銘柄	2銘柄		<98.9%>	
合 計	口 数 ・ 金 額	484,150	1,111,750	-	6,031,579	98.9
	銘 柄 数 <比 率>	2銘柄	2銘柄		<98.9%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

ゴールド・インデックス・マザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2023年7月31日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	6,031,579	98.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	97,923	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	6,129,503	100.0

※期末における外貨建資産（6,052,138千円）の投資信託財産総額（6,129,503千円）に対する比率は98.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=140.97円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年7月31日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	6,143,879,316円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	97,922,748
投資信託受益証券(評価額)	6,031,579,862
未 収 入 金	14,376,706
(B) 負 債	47,284,223
未 払 金	42,251,763
未 払 解 約 金	5,032,289
そ の 他 未 払 費 用	171
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	6,096,595,093
元 本	4,529,203,371
次 期 繰 越 損 益 金	1,567,391,722
(D) 受 益 権 総 口 数	4,529,203,371口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	13,461円

※当期における期首元本額1,959,291,365円、期中追加設定元本額2,975,379,511円、期中一部解約元本額405,467,505円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

三井住友DS・FW専用ポートフォリオ・レベル1（保守型）	114,671円
三井住友DS・FW専用ポートフォリオ・レベル2（安定型）	1,605,859円
三井住友DS・FW専用ポートフォリオ・レベル3（安定成長型）	8,455,209円
三井住友DS・FW専用ポートフォリオ・レベル4（成長型）	4,292,809円
三井住友DS・FW専用ポートフォリオ・レベル5（積極成長型）	3,593,238円
日興FWS・ゴールド（為替ヘッジあり）	363,900,825円
日興FWS・ゴールド（為替ヘッジなし）	3,571,356,274円
三井住友DS・ゴールドインデックス・ファンド（為替ヘッジあり）	575,884,486円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年8月2日 至2023年7月31日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 21,067円
受 取 利 息	446
支 払 利 息	△ 21,513
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	686,501,607
売 買 益	687,852,903
売 買 損	△ 1,351,296
(C) そ の 他 費 用 等	△ 558,980
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	685,921,560
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	286,982,590
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 103,715,534
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	698,203,106
(H) 合 計 (D + E + F + G)	1,567,391,722
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,567,391,722

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。